

## 若さはじけた 感動の体育祭 白団 優勝!

11日(火)に体育祭が行われました。生徒たちの笑顔・歓声・気合がグラウンドいっぱいにはじけた一日でした。勝ち負けにこだわり、勝ち負けを超えた価値に気がつくことができていた体育祭でした。のびのびと自分たちの力を発揮し、仲間を思いやり、誰もがすっきりとした思いを広げたように思います。

こんなにすばらしい体育祭ができたのは、3年生のリーダーシップの確かさと強さ、そして思いやりのおかげです。本当にすばらしい3年生の姿でした。体育祭後に教えてもらったことなのですが、体育祭当日、3年生は集合時間より早く集まり、1年教室と2年教室の黒板にメッセージを書いて、これまでの練習への感謝と本番への意気込みを伝えたそうです。1・2年生もそんな3年生だからこそ、安心して、信頼してついていけたのだと思います。3年生だけでなく、1年生・2年生にもたくさんの笑顔がありました。

全校生徒のみなさん、本当にお疲れさまでした。

そして、保護者の皆様、地域の皆様、本校の教育活動をいつも温かく見守っていただき、本当にありがとうございました。こんなにすてきな子供たちの姿は、家庭の教育力のおかげと感じております。

子どもたち一人一人の良さを高めていけるように、教育活動を推進いたします。今後もよろしくお願ひいたします。



フォーメーションがかっこよかった紅団



踊りがまとまってそろっていた白団



体をそらせて野田原頭



この声 この思い 空まで届け

## 1・2年生へのメッセージを含んだ 3年生の作文を紹介 PART 1

達成感と後悔 3年 1番 青木 華子

12日の朝、学校へ続く坂を登っているとき、右足の靴のなかに昨日の砂が入っていることに気付きました。昨日は中学最後の体育祭があり、私が所属する紅団は負けてしまいました。今年の3年生は、皆ノリがよくおもしろくて、どの競技もずっと笑っていたと思います。その中で私が特に印象に残っている競技は、1番最初の種目「100m走」と1番最後の種目「紅白対抗全員リレー」です。

「100m走」は、実はずっと嫌だな、走りたくないな、100mのときだけ大雨にならんかな、と、とにかく憂鬱で仕方ありませんでした。私は今年の50mのタイムが、女子の中で3番目ぐらいに遅く、結佳・陽花と一緒に走ると知ったときは言葉を失いました。いざ自分の番になると、手が痺れてきて、頭の中は空っぽだったと思います。だから、走り終わって自分が1番と分かったときは、体が宙に浮かんだような変な感じになって、前日の雨でぐしゃぐしゃになった地面に突っ込みそうになりました。だけど、生まれて初めてゴールテープが自分の体に巻きつく感覚を知ることができ、いい体験ができたなと思いました。

100m走で浮かれたからなのか、最後の最後で大失敗をしてしまいました。紅白対抗全員リレー、紅Aチームがだんだん追いついてきて、私の手にバトンがのったときです。視界が傾き、全身が大きく揺れて、私はバトンパスに失敗し転びました。一瞬何が起こったか全く分からず、本当に時間が止まったかと思いました。「とにかく走らない」という思いで、腕と脚を振り上げたことしか記憶にないです。次の1年生にバトンを渡し終えたとき、だんだんと膝が痛んできて、血がにじんできました。結果は、白Bチームが1位で、紅Aチームは2位でした。

解団式を迎え、3年生が1人1人コメントをすることになりました。紅団の空気はどんよりとしていたというよりは、悔しい、という感じだったと思います。私が話す番になり、「負けてすごい悔しい、でもよさこい勝ててうれしい、楽しかった」という様なことを話そうと思っていました。でも、「悔しい」という言葉を口にしたとき、リレーで転んだ時の悔しさや申し訳なさが溢れてきて、涙が出てきました。絶対泣かんとこ、と思ったけど、声がつまってしまう結局泣いてしまいました。後輩たちに上手に伝えることができなくて、今となっては後悔しています。

私がこの中学最後の体育祭を終え、思うことは「後悔しないように残りの中学校生活を過ごそう」ということです。中学3年生は、ほぼ全ての行事に「中学最後」という言葉がついて回ります。体育祭では、全力を出し切れた達成感と、後悔という思いで終わりました。だから、残りの中学校生活は、後悔を残さず、笑顔で終われるようにしたいです

一番のクラスで作上げたもの 3年 3番 上野紗衣

体育祭が終わった後、3年全員で写真を撮ったり友達と話したりしているときにとっても楽しかった体育祭だったはずなのに、少し寂しく感じました。

夏休みから準備をして楽しみが終わってしまったという思いもあったかもしれないけど、応援の人達を中心となって作上げたよさこいを踊ったり、団で勝ちに行くことがもうあまりできないと思い寂しくなりました。

1年生のときに、体育祭をもう一度やりたいという思いがあったときがあって、今年も体育祭が終わってほしくないと思いました。私と同じように「とても楽しかった。」と思った人が多くいてくれてよかったです。その理由として、みんなで応援合って笑顔になれたことだと思います。また、よさこいでは、私たちは後攻に踊ることになっていて、交代するためにすれちがうとき、白団のみんなが「がんばれ!」と声をかけていたり、紅団と白団が合同で踊るときピンク団として違う団でも一つに団結して体育祭を盛り上げることができたからだと思います。優勝することはできなかったけど、3年生が団

を引っぱって、ピストルで撃たれるマネをしたり競わず仲よく競技に参加したり、3年生にしかできないことをやって、たくさん笑えることができました。委員会でもあまりしゃべることのない人と話して準備するだけで笑顔がこぼれていました。こんな何をしてもし楽しくなれるような体育祭を作り上げた3年生はやっぱりすごいと思いました。

解団式のとき私は泣いてしまいました。3年生はほとんど泣いていて、理由は、負けてしまった悔しさは誰にでもあると思いました。でも、私は団長が背負っていた責任感を知ったときにもう少し自分も3年生の一人としてできることがあったんじゃないかと後悔する気持ちで泣いてしまいました。1・2年生も泣いていて、みんな同じことを思ってくれたと思うと少しうれしい気持ちになりました。

夏休みに描いたパネルをかざったときに、2年生が「来年はもっと上手いパネル描こうね。」と話していて自分たちが描いたパネルが2年生にやる気を与えることができたと思うと、とても嬉しく思え、来年が少し楽しみになりました。

今年の体育祭は、ピンク団ができたり、たくさん笑うことができ、3年間で一番楽しかったです。また、紅白全員リレーでは、結果が決まっても応援を続けていて、最後の一人がゴールすると全員が拍手していました。私は、改めて柳中生の団結力を感じました。

今回の体育祭で私は改めてこのクラスでよかったと思いました。このメンバーでいれる時間は残り少ないので、これからの行事も体育祭と同じように、3年生が中心となって、1・2年生を引っぱっていきたいと思います。クラスで最高の思い出を作っていきたいです。

### 奇想天外予想外

3年 6番 柿平 千夏

私が体育祭を振り返ってみると、どの競技にも＜予想外＞の三文字が付いて回ります。良くも悪くも、すべてが予想外でした。その中でも、特に心に残っている3つを紹介します。

まず、新たな団、「ピンク団」が結成されたことです。今年は練習の時から互いに応援しあったりして、いつもより盛り上がっていると感じたけれど、まさか団まで結成するとは思いませんでした。でも、団陣の言葉も大体同じだったし、2つの団が合わさって踊ったことで最高に盛り上がったので、うれしかったです。次の年は、2つの団がどんな団結力を見せるのか楽しみです。

次に、個走で3年生がスタートしてからパフォーマンス的なことをしていたのが深く心に刻まれました。私も、「秋の柳中パン祭り」でパフォーマンスに参加したのですが、その後も次々と3年生が面白い事をしていて、そのアイデアの発案力に驚きました。勝ち負けだけではなく、スタートからの楽しさにもこだわる3年生の姿が受け継がれないかなあと少し楽しみにしています。

そして、これがある意味1番予想外だった、という出来事を最後に紹介します。体育祭の準備で、よさこいと同じくらい心血を注いできた文化委員会の担当種目、「柳Qアタック3」で、選択肢の紛失があったことです。あんなに問題を一生懸命考え、そして体育祭用の選択肢を作り、確認も重ねてきたのに・・・と、その時は頭の中が混乱しました。けれど、用具係の3年生は私だけで、どうすればいいか決断しなければならなかったもので、仕方なく、＜君の名は。＞と書かれたカードを持って本部のほうに走りました。そして、途中、先生に、「正解がないげんろ？」とズバリ言いあてられ、少しくたえながらもなんとかその＜君の名は。＞カードの裏に正解の＜ココ・シャネル＞を乱雑に書き、なんとかその場を切り抜けることができました。競技の流れが止まってしまったときは、「あああ〜」ともう絶望しそうになったけど、選手の間も、観客の皆さんも、だれも文句も言わずに待っていてくれて本当にホッとしました。また、こんな非常事態でもあわてずきばきと指示に従って無くなってしまった＜ココ・シャネル＞を全力で探してくれた用具係にも感謝したいです。

と、このような感じで、予想外な怒濤の1日が過ぎて行きました。色々ありすぎて、正直中学校生活で初めて手に入れた優勝は、あまり心に残りませんでした。しかし、「楽しかった」という感情が1番あふれ出た最後の体育祭だったと思います。ここには書ききれなかったぶんも、多くの出来事があったし、その分だけたのしさもありました。

最後に、前にも何回か書きましたが、次の世代に期待したい、受け継いでほしい、という思いもかなり強く持っています。きっと次の世代は私たちの創り上げたものをアップデートしてくれると思います。そして、次も、その次も受け継いでくれると信じています。

### みんなのおかげで楽しかった

3年 2番 石垣 ルイ

家に帰って体育祭の動画や画像をみた。家族みんなで笑っていた。なぜか全校の団陣で翔夢がセンターにいたことや立体機動訓練(100m走)でのハプニングがおもしろかった。

その体育祭で特に私が楽しかったことは、3つある。

1つ目は、団陣。団陣でも白団だけのものと赤白がまざったピンク団のものがあった。どちらも楽しかった。白団の団陣では、翔太郎を中心にみんなで楽しく声をおもいきり出せたと思う。ピンク団の団陣では、翔太郎と憂飛を中心に2つの団のかけ声をまぜ、いい感じにみんなで楽しく、声をおもいきり出せた。そのかけ声の終盤に、翔太郎が

「龍のように翔び鳳凰のように舞う、我がピンク団に」と言い、みんなが、

「敵な——し！！」  
と言ったところで誰かが

「敵は確かにいないよね。だって赤と白がまざってピンクになってるもん。」  
と言っていたので少しツボった。笑 本当に今年の団陣は最高だった。

2つ目は、小麦粉に注意(マシュマロ探し)。今年は5組目で真妃と小佳美と乃恵と私の4人だった。競技をする前に何をするかを決めて、本番にのぞんだ。まず、ピストルがなったら手をつないでスキップしてぐるぐるバットのところに行った。そして、4人でバットを10周し、その後ピンポンをお玉に乗せて運ぶときはパシュートをした。あとは、マシュマロを探すだけになり、「じゃんけんポン！」

まきはチョコキ、こよみはチョコキ、のえはチョコキ、るいはパー。一人だけ負けるなんて... 一番最後にマシュマロを探した。上半分に小麦粉がなくて、ゴールをした後みんなが、

「サンタクロースみたい。」  
って、言ってきた。後で鏡を見てみると本当にサンタクロースになっていてウケた。4人の中で一番、乃恵がすごかった。

3つ目は、解団式。  
「なぜ、私しか泣かないの...」

と、思った。団長とか泣いてくれるかなと思ったら泣いてくれないし、みんな私が泣いてるの見て笑ってたし！けど、言いたいこと全部言え、最後、みんな笑うことできたからよかったと思う。

とにかく全部楽しかった。3年間の体育祭で1番楽しかった。

「本当に白団のみんなありがとうございました！こんなに頼りない応援リーダーについてきてくれて。もっとかっこいいよさこいにすればよかったよね。すいません。そして、ありがとう。3年生のみなさんもありがと！みんなのおかげで体育祭がとても楽しかったです！！」



あこがれ... 笑顔がいっぱいね



勢いよく



パンチだった団陣のふんばり



表情から伝わってくる思い

